

要覧

平成27年度



三学ばる岡山

岡山県生涯学習センター



人と科学の未来館サイピア

Contents

1 運営の基本方針	1
2 概 要	
1 組 織	1
2 沿 革	2
3 建設概要	3
4 施設概要	3
5 施設配置図	5
3 平成27年度事業体系	6
4 平成27年度事業計画	
1 指導者の養成と研修	7
2 情報提供・学習相談	7
3 生涯学習大学の開設	8
4 調査・研究	8
5 交流・連携と施設・設備の活用	8
6 科学教育の普及・推進	9
5 平成26年度事業実績	
1 指導者の養成と研修	10
2 情報提供・学習相談	13
3 生涯学習大学の開設	13
4 調査・研究	13
5 交流・連携と施設・設備の活用	14
6 科学教育の普及・推進	14
7 施設設備の利用状況	16
8 生涯学習情報提供システム（ばるネット岡山）	16
9 学習相談件数	17
10 視聴覚コーナー	17
11 視聴覚教材コーナー	17
12 図書・ブラウジングコーナー	17
6 関係条例及び規則	
岡山県生涯学習センター条例	18
岡山県生涯学習センター条例施行規則	19
施設等利用料金表	裏表紙裏

1 運営の基本方針

岡山県生涯学習センターは、県民の生涯にわたる学習活動の振興を図るため、県の拠点施設として、「晴れの国おかやま生き生きプラン」等を踏まえ、市町村や関係機関・団体等と連携を図りながら、次の事項を重点として運営する。

特に、持続可能な地域づくり、つながりづくりを目指し、生涯学習指導者等の地域人材の養成、調査・研究、情報発信などの機能強化に努めるとともに、「少・壮・老」の三世代の県民が仲間（ばる）として楽しく学習や交流ができる「三学ばる岡山」づくりを進める。

1 生涯学習指導者の養成・研修

生涯学習推進の中核となる県・市町村の関係職員や生涯学習指導者の養成・研修を実施し、その資質の向上と指導力の充実に努める。

2 生涯学習情報提供・学習相談

広く県内外の生涯学習情報・資料の収集整理に努めるとともに、生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」の充実に図り、情報提供や学習相談の充実に努める。

3 生涯学習大学の開設

生涯学習大学の開設等により、県民の生きがいづくり・能力開発に役立てるとともに、学習を通じて地域社会づくりに貢献できるよう学習機会の充実に努める。

4 調査・研究

生涯学習・社会教育に関する課題等について調査・研究を行い、その成果や実践事例、学習プログラム等を市町村や関係団体等に普及する。

5 交流・連携と施設・設備の活用

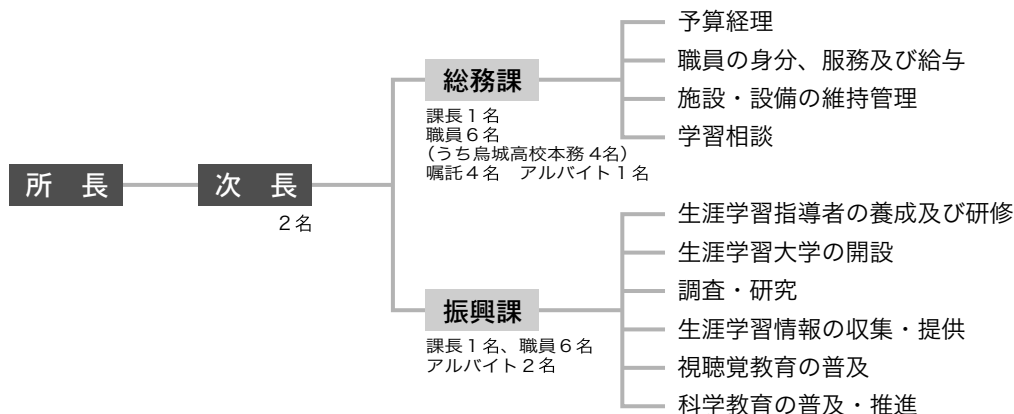
多様な分野や各年齢層の仲間が集い、活動成果の発表などの交流を通して、学習意欲を高めるとともに、施設・設備を活用し、企業、大学、各種団体と連携・協働しながら、県民の生涯学習活動を支援する。

6 科学教育の普及・推進

人と科学の未来館サイピアを拠点として、指定管理者との緊密な連携のもとに科学関連事業の充実に努める。また、科学教育にかかわる連携・協働先とのネットワークの構築を進める。

2 概要

1 組織



2 沿 革

- 平成2年1月 中央教育審議会が文部大臣に対し「生涯学習の基盤整備について」を答申。
この中で、地域の生涯学習を推進するための中心機関となる「生涯学習推進センター」について、都道府県が設置することが適当である旨を答申した。
- 平成3年4月 第4次岡山県総合福祉計画の中で、学習情報の提供、学習相談、指導者の養成等を行う生涯学習推進センターの必要性及び単位制高等学校の整備を進めることが述べられた。
- 平成4年3月 岡山県生涯学習推進会議が、「岡山県における生涯学習推進の基本的な考え方」についての意見具申の中で、県の生涯学習推進の中核施設である「生涯学習推進センター」の早急な整備を求めた。
- 平成5年3月 岡山県立短期大学跡地に、生涯学習推進センター（仮称）と単位制に改編する県立鳥城高等学校を一体的に整備する「生涯学習推進センター（仮称）整備基本構想」策定
- 平成6年3月 「岡山県立短期大学跡地整備基本計画」策定
12月 「岡山県立鳥城高等学校・生涯学習推進センター（仮称）基本設計」完了
- 平成7年3月 「岡山県立鳥城高等学校・生涯学習推進センター（仮称）実施設計」完了
11月 建設工事着工
- 平成8年12月 岡山県生涯学習センター竣工
12月 12月議会において「岡山県生涯学習センター設置条例」制定
- 平成9年1月 同条例施行、機関設置
2月 岡山県生涯学習センターオープン記念式
2月 岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」稼働
5月 岡山県生涯学習大学「のびのびキャンパス岡山」開設
- 平成10年2月 「県立鳥城高等学校・県生涯学習センターの一体的運営に関する委員会」発足
10月 岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」が岡山情報ハイウェイに接続され、インターネット上で情報提供開始
- 平成12年6月 岡山県公民館連合会事務局を県教育庁生涯学習課から移管。
- 平成12年度 文部省委嘱事業「生涯学習ボランティア推進フォーラム」、「キャリア開発学習情報提供推進事業」実施
11月 岡山県生涯学習推進中核施設連絡協議会を設立
- 平成13年3月 国庫補助「情報技術学習環境整備事業」によりパソコン教室2を整備
- 平成14年2月 岡山県生涯学習センター開所5周年記念事業を実施
3月 岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」を更新
4月 「おかやま長寿学園」を「岡山県生涯学習大学」に統合
6月 岡山県公民館連合会発足50周年に伴う記念事業を実施
7月 岡山県体験活動ボランティア活動支援センターを設置
- 平成17年4月 生涯学習・社会教育担当者向けの研修をリニューアル
- 平成18年3月 岡山県生涯学習推進施設中核施設連絡協議会を解散
11月 「まなびピア岡山2007」プレフェスティバルを開所10周年記念事業と兼ねて開催
- 平成19年2月 岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」を更新
4月 施設設備の維持管理業務及び施設等の利用許可業務等一部の業務に指定管理者制度を導入
11月 「まなびピア岡山2007in 三学ばる岡山」を開催
- 平成20年11月 池田動物園、県立児童会館、岡山県生涯学習センターで連携し「京山キッズゾーン」を立ち上げ、「第1回京山祭」を開催
11月 「おかやま学びフェスタ2008」を開催
- 平成21年4月 情報課を振興課に統合し新しく振興課とする。
- 平成23年3月 県立児童会館閉館
- 平成23年9月 「岡山県生涯学習センター未来科学棟（仮称）整備基本計画」策定
- 平成24年4月 「岡山県生涯学習センター運営協議会」設置
- 平成24年5月 「岡山県生涯学習センター未来科学棟（仮称）専門委員会」設置
（のちに「岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア専門委員会」に名称変更）
- 平成24年6月 岡山県生涯学習センター未来科学棟（仮称）建設工事着手
- 平成24年10月 新施設の名称が「人と科学の未来館サイピア」に決定
- 平成25年3月 岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア竣工
- 平成25年4月 施設設備の維持管理業務及び施設等の利用許可業務等の一部の業務に、人と科学の未来館サイピア及び児童遊園地の運営業務、喫茶棟の利用促進業務を加えて指定管理業務を開始
岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア開館
- 平成26年4月 岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア 入館者10万人達成
- 平成27年2月 岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア 入館者20万人達成

3 建設概要

敷地面積 45,010㎡

建築面積 7,566㎡

延床面積 14,320㎡

構造規模

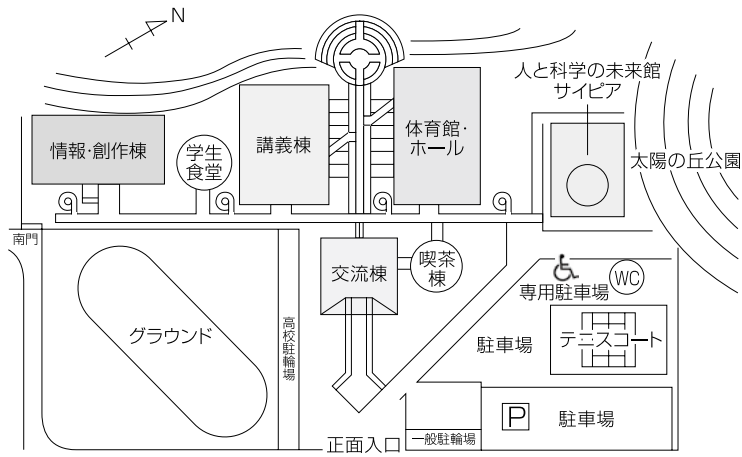
交流棟／鉄筋コンクリート造2階建 学生食堂／鉄筋コンクリート造平屋建
 情報・創作棟／鉄筋コンクリート造5階建 喫茶棟／鉄骨造平屋建
 講義棟／鉄筋コンクリート造5階建 公衆便所／鉄筋コンクリート造平屋建
 体育館／鉄筋コンクリート造2階建
 人と科学の未来館サイピア／鉄筋コンクリート造2階建
 駐車場／鉄骨造、アスファルト・芝生舗装

4 施設概要

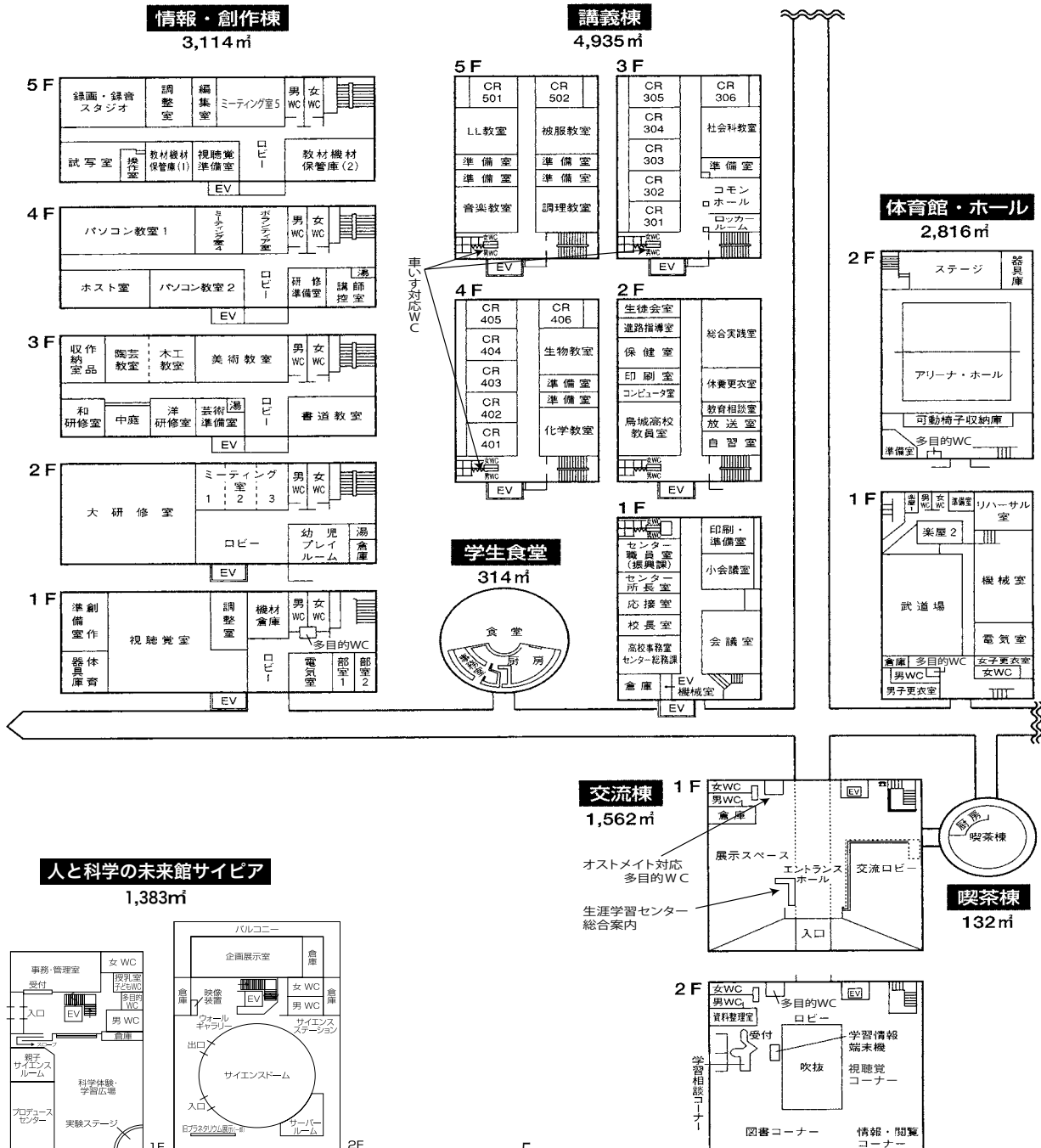
建物	階別	室名	面積	定員	主要設備内容	
情報・創作棟	1階	視聴覚室	261㎡	72人	ハイビジョン対応のプロジェクター、その他各種映像再生機器	
	2階	大研修室	261㎡	150人	液晶プロジェクター、簡易ステージ、DVDビデオデッキ、演台、ホワイトボード、スクリーン	
		ミーティング室1	28㎡	18人	ホワイトボード	
		ミーティング室2	22㎡	12人	ホワイトボード	
		ミーティング室3	28㎡	18人	ホワイトボード	
		幼児プレイルーム	50㎡	—	幼児用絵本、おもちゃ、ビデオ付テレビ等	
	3階	和研修室	33㎡	—	茶道用道具（有料）	
		洋研修室	33㎡	12人	—	
		陶芸教室	39㎡	24人	作業台、電動ろくろ等陶芸工具	
		木工教室	39㎡	8人	卓上糸鋸盤等木工具	
		美術教室	80㎡	35人	チャートハンガー、各種画材用具等、プロジェクションテレビ	
	4階	書道教室	66㎡	32人	チャートハンガー、プロジェクションテレビ	
		パソコン教室1	116㎡	40人	パソコン41台、カラープリンター	
		パソコン教室2	66㎡	20人	パソコン21台、スキャナ付プリンター	
		ボランティア室	40㎡	18人	ホワイトボード、スクリーン	
		ミーティング室4	40㎡	18人	ホワイトボード、スクリーン	
		ホスト室	66㎡	—	—	
	5階	講師控室	28㎡	—	—	
		録画・録音スタジオ	116㎡	—	ベータカムレコーダー等映像機器、デジタルミキサー等音声録音機器、グランドピアノ（有料）	
		編集室	21㎡	—	ビデオタイター、ビデオエディティングシステム、パソコン、Hi8・VHS・DV編集機等	
		ミーティング室5	58㎡	26人	ホワイトボード	
	講義棟	1階	試写室	66㎡	18人	プロジェクター、DVDプレーヤー、16ミリ映写機等
			校長室	40㎡	—	—
応接室			40㎡	—	—	
事務室			75㎡	—	（高校事務室、センター総務課）	
所長室			40㎡	—	—	
センター職員室			80㎡	—	（センター振興課）	
会議室			121㎡	63人	—	
小会議室			64㎡	32人	—	
印刷・準備室	64㎡	—	—			

建 物	階別	室 名	面積	定員	主 要 設 備 内 容
講 義 棟	2 階	教 員 室	160㎡	—	—
		コ ン ピ ュ ー タ 室	40㎡	—	—
		印 刷 室	40㎡	—	—
		保 健 室	66㎡	—	—
		進 路 指 導 室	54㎡	—	—
		生 徒 会 室	43㎡	—	—
		総 合 実 践 室	163㎡	—	パソコン 42台
		休 養 更 衣 室	80㎡	—	—
		教 育 相 談 室	40㎡	—	—
		放 送 室	40㎡	—	—
	自 習 室	80㎡	—	—	
	3 階	CR(クラスルーム)× 6	64㎡	40人	—
		社 会 科 教 室	120㎡	40人	ホワイトボード
		コ モ ン ホ ー ル	80㎡	—	自動販売機、洗面台
		ロ ッ カ ー ル ー ム	80㎡	—	—
	4 階	CR(クラスルーム)× 6	64㎡	40人	—
		生 物 教 室	120㎡	40人	—
		化 学 教 室	121㎡	40人	—
	5 階	CR(クラスルーム)× 2	64㎡	40人	—
		L L 教 室	120㎡	40人	LLシステム
音 楽 教 室		117㎡	40人	グランドピアノ、CD等音響機器	
被 服 教 室		121㎡	40人	—	
		調 理 教 室	120㎡	40人	—
交 流 棟	1 階	展 示 ス ペ ー ス	200㎡	—	生涯学習センター総合案内、展示パネル、展示ケース
		交 流 口 ビ ー	220㎡	80人	プロジェクションテレビ
	2 階	視 聴 覚 コ ー ナ ー	160㎡	—	DVD用ブース (8ブース)
		情 報 閲 覧 コ ー ナ ー	144㎡	—	—
		学 習 相 談 コ ー ナ ー	80㎡	—	生涯学習情報提供システム公開端末機 (2台)
		図書・ブラウジングコーナー	160㎡	—	—
体 育 館・ ホ ー ル	1 階	武 道 場	336㎡	—	—
		リ ハ ー サ ル 室	93㎡	—	—
		楽 屋 1	12㎡	—	洗面台、丸椅子、コートハンガー
	楽 屋 2	25㎡	—	洗面台、丸椅子、コートハンガー	
2 階	ア リ ー ナ	896㎡	500人	可動椅子500席 (有料)、各種音響・照明設備、プロジェクションテレビ、OHC	
学 生 食 堂	1 階		314㎡	220人	烏城高等学校専用
喫 茶 棟	1 階		132㎡	64人	(グリルばる)
グ ラ ウ ン ド			7,273㎡	—	夜間照明
テ ニ ス コ ー ト			1,254㎡	—	オムニコート 2面
駐 車 場		立体・平面	1,751㎡		普通車180台、大型バス 4台、身体障害者用 1台
		芝生	976㎡		普通車29台、身体障害者用 3台
人 と 科 学 の 未 来 館 サイピア	1 階	科学体験・学習広場	237㎡		液晶プロジェクター、大型モニター、スクリーン他
		プロデュースセンター	70㎡		ホワイトボード他
		親子サイエンスルーム	33㎡		幼児用絵本、おもちゃ、各種遊具他
	2 階	企 画 展 示 室	101㎡		液晶プロジェクター、スクリーン他
サイエンスドーム		176㎡	132人	投影機他	

5 施設配置図



生涯学習センター・鳥城高等学校施設内配置図



3

平成27年度事業体系

生涯学習センター事業



4 平成27年度事業計画

1 指導者の養成と研修

事業名		主な内容	対象：定員	期間
行政職員等研修	生涯学習・社会教育関係職員研修講座 初任者研修	生涯学習・社会教育行政の推進に必要な基礎的な知識・技能の研修を行い、行政職員や生涯学習推進者としての資質の向上を図る。また、職員間のネットワークづくりを支援する。 (第2回は、県北・県南の2会場で実施)	生涯学習・社会教育推進担当者で勤務年数が少ない方 基礎的な知識を学びたい方 等	4月～5月
	生涯学習・社会教育関係職員研修講座 ステップアップ研修	現代的な課題に対応し、日常の業務に役立つ実践的な研修を体系的に行うことで、担当者や生涯学習によるまちづくりの指導者としての力量の向上を図る。 (地区研修は備前・備中・美作地区で実施)	生涯学習・社会教育担当者 社会教育施設職員 社会教育指導員 生涯学習・社会教育推進の指導者 等	6月～ 28年1月
	社会教育情報ネットワーク事業	県内市町村の社会教育施設職員等を対象に、特に公民館のニーズや現状に合致した講座形態とし、拠点となる市町村とも連携を進めながら、情報発信力を向上させるための基本的な知識・技能の研修を行う。そして、広報紙やホームページを通じて積極的に発信する役割を担う職員等の育成を図る。	教育委員会生涯学習担当職員、 公民館職員、公民館ホームページ作成関係職員、首長部局生涯学習関連課職員、生涯学習センター等の施設職員 等	10月～ 28年1月
	視聴覚ライブラリー担当者会・研修会	視聴覚ライブラリーの運営上の諸問題を話し合い、視聴覚教育の一層の向上を目指す。	視聴覚ライブラリー職員	7月・12月
	岡山県公民館連合会研修会	公民館研究者等の講演や公民館における現代的課題についての研修を行い、職員や市町村公民館担当者の資質の向上を図る。	公民館職員、市町村教育委員会公民館担当者	5月～ 28年1月
県民指導者研修	教育支援活動コーディネーター等研修会 (中央研)	学校と家庭、地域のそれぞれの関係づくりを進めるコーディネーターや、家庭教育支援を推進するリーダー等の資質向上を図る。 (学校教育支援、放課後・土曜教育支援・家庭教育支援の2回)	学校支援コーディネーター、 放課後子ども支援コーディネーター、土曜教育コーディネーター、家庭教育支援チーム員、教職員(地域連携担当職員)等	5～7月
	生涯学習プランナー養成コース	新たな指導者の発掘と育成、仲間作りの促進やネットワークの形成・強化、活動の活性化を目的として、理論学習や活動実践等の研修をとおして、地域づくりに取り組む活動者の育成を図る。	生涯学習活動グループリーダーやリーダーを志す者、 教育支援活動コーディネーター、社会教育関係団体関係者、NPO・ボランティア関係者、学校・行政関係者 等	5月～11月 7回
	未来を担う若人育成コース	地域活動・ボランティア活動に興味を持つ県内大学生等を対象に、自らの思いを社会の中で実現させる行動力を身につけることを目的として、自主性やリーダーとしての資質を高める実践型研修をとおして、それぞれの地域や学校で活躍する人材を育成する。	県内大学生等	5月～11月 8回
公開講座	県全域に渡った潜在的ニーズに対応するため公開形式とし、広く参加を呼びかける。また、講座生や他のセンター事業関係者に一般参加者も交え、参加者のネットワークの拡大、強化と資質の向上を図る。(2回)	生涯学習プランナー養成コース講座生、 未来を担う若人育成コース講座生、 センター事業関係者、 県民一般	6月・11月	

2 情報提供・学習相談

事業名		主な内容	対象：定員	期間
学習相談		学習相談員が面談、手紙、電話、ファクシミリ、電子メールで、生涯学習に関する相談に応じる。	県民一般	常時
生涯学習情報提供	生涯学習情報提供システムの整備	新情報提供システムの利用状況、実用性、操作性を調査し、より使いやすいシステムづくりを図る。		常時
	生涯学習情報の収集・整理	コンピュータネットワークで提供する「講座・講演情報」「講師・ボランティア情報」「団体・グループ情報」等の更新と情報量の増加を図るとともに、分野によっては内容を精選し、広く広報を行う。		常時
	視聴覚コーナーの整備・運営	8台のDVD用ブースで、郷土に関する映像や映画、アニメーション等を提供する。	県民一般	常時
	情報・図書資料の収集・整理	図書、逐次刊行物、新聞等を収集・整理し学習者に提供する。	県民一般	常時
センターだより(情報誌)等の発行	センターの事業等を紹介するために、要覧、リーフレット、情報誌等を作成し、関係機関等に配布する。	県民一般 関係機関	要覧 年1回 情報誌年2回 リーフレット 随時	

事業名		主な内容	対象：定員	期間
視聴覚メディア活用学習の促進	視聴覚教材・機材の整備・貸出	視聴覚教材や機材の整備・貸出等を行い、学習活動を支援する。	県内の団体	常時
	視聴覚教育の普及・広報活動	視聴覚教育の指導者の養成に努めるとともに、16ミリ映写機利用セミナーを開催するなど、一般への視聴覚教育の普及を図る。 視聴覚教材目録を作成し、視聴覚教材の利用促進を図る。	教材利用団体	随時
	岡山県視聴覚ライブラリー連絡協議会	県下の視聴覚ライブラリーとの連携を図り、視聴覚教育の推進を図る。	視聴覚ライブラリー職員	随時
	16ミリフィルムデジタル化事業	郷土岡山を紹介する貴重な16ミリフィルムの映像をデジタル化し、広く県民に公開するとともに、後世に映像資料として伝える。		

3 生涯学習大学の開設

事業名		主な内容	対象：定員	期間
生涯学習大学		<p>県の特性を生かした講座を開設するとともに、多様な学習講座を体系化し情報提供する。さらに、学習成果を評価することにより社会参加の促進を図る。</p> <p>(主催講座)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現代的課題を学ぶコース (3 講座) ○岡山県の特性を学ぶコース (1 講座) <p>(連携講座)</p> <p>他の行政機関及び民間が主催する講座</p>	<p>県民一般</p> <p>定員 40 名 定員 40 名</p>	年間
			<p>県民一般 定員各講座ごと</p>	
のびのびキャンパス塾		岡山県生涯学習大学の生涯学習リーダー養成コースの修了生が企画・運営する講座を開設する。	県民一般	年間
生涯学習「受講生の集い」		岡山県生涯学習大学の受講生に対し、証書の授与や学習成果発表の場を提供するとともに、記念講演会を開催し、本県における生涯学習の普及・啓発を図る。	受講生 県民一般	2月

4 調査・研究

事業名		主な内容	対象：定員	期間
若者の社会参画に関する調査・研究		若者の社会参画を推進するため、県生涯学習課と連携し、基礎資料となるアンケート調査や好事例に関する調査・研究を実施する。	県内市町村、公民館、学校、各種団体	年間

5 交流・連携と施設・設備の活用

事業名		主な内容	対象：定員	期間
京山祭		体験や遊びのコーナーを設け、家族や仲間とのふれあいや交流の場を提供する。	県民一般	6月 11月
ばるスマイル Day		第3土曜日に、ボランティアや各協力団体と協働して、子ども・親子を対象とした体験活動「ばるチャレンジ」、趣味や特技をいかした「ばるコンサート」、子ども向け映画会「ばるシアター」など、県民に体験活動の場とボランティア活動の場を提供する。 また、視聴覚室等を開放し、子どもや大人が楽しみながら映像に親しむとともに豊かな心と感性を育む場を設ける。	県民一般	第3土曜日
発表・展示・交流		展示スペース、交流ロビー等を生涯学習の成果の発表展示、団体・学習者の交流の場として提供する。	生涯学習関連団体 県民一般	随時
施設ボランティア活動の促進		自己実現及び社会参加を目的に、自発的、自主的なボランティアとしての活動を促し、生涯学習センター、人と科学の未来館サイビアの運営機能の活性化を図る。	県民一般	常時
施設・設備の活用		県民に生涯学習センターの施設・設備を提供し、生涯学習を支援する。	関係機関 県民一般	常時

5 平成26年度事業実績

1 指導者の養成と研修

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
生涯学習・社会教育 関係職員研修講座 初任者研修	平成26年4月18日	生涯学習・社会教育の推進に必要な基本的な知識の理解・技能の研修を行い、行政職員や生涯学習推進者としての資質向上を図った。また、職員間のネットワークづくりを支援した。 ◆第1回 ※岡山市新任公民館職員研修と兼ねる。 【講義】「基礎から学ぶ生涯学習・社会教育の進め方～入門編～」 講師 岡山大学大学院 准教授 熊谷 慎之輔 【説明】「岡山県の社会教育の現状」 説明 岡山県教育庁生涯学習課 総括副参事 春名 章範 【実践発表】「地域とともにある公民館をめざして」 発表者 吉備中央町吉川公民館 主事 木林 りみこ 【実践発表】「岡山市の社会教育におけるESDの取組について」 発表者 岡山市ESD世界会議推進局 担当課長補佐 内田 光俊 【情報交換】 【情報提供】「ばるネット岡山について」 説明 岡山県生涯学習センター 振興課職員	75人
	平成26年5月8日 (県南会場) 平成26年5月13日 (県北会場)	◆第2回 ※岡山市新任公民館職員研修、津山市公民館長研修と兼ねる。 【演習】「社会教育・公民館担当者の役割を考える」 講師 岡山大学キャリア開発センター 助教 中山 芳一	(県南)36人 (県北)17人
生涯学習・社会教育 関係職員研修講座 ステップアップ研修	平成26年9月26日	現代的な課題に対応し、日常の業務に役立つ実践的な研修を体系的に行うことで、担当者や生涯学習によるまちづくりの指導者としての力量の向上を図った。 ◆中央研修 【講義】「私が変わる、社会は変わる ～人とコミュニティを結ぶ『縁結人』(えんむすびと)になるう」 【演習】「いま、若者たちが求めるもの ～若者の参画を演出するには何が必要か？」 講師 昭和女子大学 グローバルビジネス学部 特任教授 コミュニティサービスラーニングセンター センター長 興梠 寛	43人
	平成26年11月28日	◆地区研修：備前地区 ※第2回備前地区社会教育委員連絡協議会研修会、備前地区社会教育研究協議会第3回研修会と兼ねる。 【実践発表】「国府小学校カラフル(学校支援地域本部)の取組について」 発表者 瀬戸内市立国府小学校 校長 大谷 正 【実践発表】「備前市の学校支援地域本部事業」 発表者 備前市教育委員会生涯学習課 社会教育主事(主幹) 岡武 俊樹 【講評・講話】「なぜ、今学校と地域の連携なのか? ～学校と地域の効果的な連携について～」 講師 愛媛県新居浜市 市民部長 関 福生	43人
	平成26年12月11日	◆地区研修：備中地区 ※倉敷市公民館職員研修会と兼ねる。 【講義・演習】「講座づくりのポイント」 発表者 公益財団法人 奈良市生涯学習財団 佐野 万里子	76人
	平成27年1月23日	◆地区研修：美作地区 ※人づくりまちづくり研修会と兼ねる。 【情報交換・情報共有】「今年度の生涯学習・社会教育の取組について」 【講義・ワークショップ】「社会教育の『不易』と『流行』 ～何を受け継ぎ、何を創り出すか～」 講師 杉並区教育委員会事務局 学校支援課 教育連携担当係長(社会教育主事) 中曽根 聡	50人

<p>社会教育施設職員等 研修会 兼 岡山県公民館連合会 第2回研修会</p>	<p>平成26年7月15日</p>	<p>昨年度から実施されている国の委託事業「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」の実践発表を通じて、持続可能な人づくり・地域づくりの実現を担う公民館の今後の方向性について考えた。</p> <p>【説明】「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」について 文部科学省生涯学習政策局 社会教育課 課長補佐 米本 善則</p> <p>【実践発表】</p> <p>テーマ1 若者の自立・社会参画形成支援プログラム 「町民全体で子ども・若者をサポートする体制づくり」(勝央町) 発表者 勝央町教育委員会 教育振興部 参事 竹内 祐三</p> <p>テーマ2 地域の防災拠点形成支援プログラム 「牛窓まちなか防災協働訓練の取組み～地域・行政がともに想創し、実践するシナリオなき発災対応型協働訓練～」(瀬戸内市) 発表者 瀬戸内市中央公民館 館長補佐 小林 裕治</p> <p>テーマ3 地域人材による家庭支援プログラム 「公民館等を活用した津山市地域連携型家庭教育支援事業」(津山市) 発表者 津山市教育委員会生涯学習部 生涯学習課 主幹 鈴木 壯俊</p> <p>テーマ4 地域振興支援プログラム 「持続可能なまちづくり～地域コミュニティの再生～」(玉野市) 発表者 玉野市立中央公民館 館長代理 井上 宗男</p> <p>テーマ5 その他地域の教育的資源を活用した地域課題解決支援プログラム 「みんなでつくる“せとうちデジタルガイドマップ”」(瀬戸内市) 発表者 瀬戸内市教育委員会 社会教育課 文化振興係長 村上 岳</p> <p>【グループ協議・全体協議】</p> <p>【助言】 助言者 神戸学院大学現代社会学部 現代社会学科 教授 清原 桂子 文部科学省生涯学習政策局 社会教育課 課長補佐 米本 善則</p>	<p>49人</p>
<p>公民館情報 ネットワーク事業</p>	<p>平成26年12月26日 ～ 平成27年2月20日 (4会場)</p>	<p>公民館からの情報発信能力を向上させるため、情報発信に関する戦略の立て方、SNS(フェイスブック作成)の基礎などについて研修を行うことができた。そのことで、ホームページやフェイスブック運用公民館数が増加した。さらに、岡山県生涯情報提供システム「ばるネット岡山」と公民館ホームページをリンクさせ、県内の生涯学習情報ネットワークの構築を目指した。</p> <p>(内容)</p> <p>【講義・演習】情報発信の基礎、SNS(フェイスブック)について SNS体験、HPコンテンツ作成のポイント</p> <p>【講師】岡山県立大学デザイン学部 教授 嘉数 彰彦 岡山県生涯学習センター 振興課員</p> <p>【会場】笠岡市民会館 [12月26日(金)] 新見市西方公民館 [1月20日(火)] 和気町学び館「サエスタ」 [2月19日(木)] 勝央町公民館 [2月20日(金)]</p>	<p>10名 10名 3名 5名</p>

<p>教育支援活動 コーディネーター等 研修会（中央研修）</p>	<p>平成26年5月21日</p> <p>平成26年8月7日</p> <p>平成26年8月28日</p>	<p>おかやま子ども応援事業の教育支援活動を効果的に進めるために、地域において中心的な役割を担うコーディネーター等関係者の資質向上を図った。</p> <p>◆学校支援 【説明】「『子どもが安心して学び成長できる環境づくり』の実現に向けて」 説明 岡山県教育庁生涯学習課 社会教育主事（主幹） 近藤 孝治 【情報交換】 【実践発表】【演習】「コーディネーター塾」 コーディネーター 美咲町立旭小学校支援地域本部 飯田 純子 倉敷市立倉敷東小学校支援地域本部 吉村 栄輔 備前市立備前中学校支援地域本部 福圓 良子 矢掛町立矢掛中学校支援地域本部 岩崎 恭子</p> <p>◆放課後等・土曜日教育支援 【説明】「放課後・土曜日等に関わる教育支援事業について」 説明 岡山県教育庁生涯学習課 社会教育主事（主幹） 東川 絵葉 【講義】【演習】「土曜日教育支援プログラムづくり」 特定非営利活動法人 スクール・アドバイス・ネットワーク 理事長 生重 幸恵</p> <p>◆家庭教育支援 【説明】「おかやま子ども応援事業（家庭教育支援）について」 説明 岡山県教育庁生涯学習課 指導主事（主任） 片山 晃一 【講義】「思春期の現状とデートDV」 講師 ウィメンズクリニック・かみむら 院長 上村 茂仁 【発表・交流】「家庭教育支援ワールドカフェ」 講師 子育て支援拠点「くるみの森」 赤迫 康代 美咲町主任児童委員 飯田 純子 津山市北小ひなづるクラブ 学童保育指導員 角野 いずみ 岡山県栄養士会 小林 計子</p>	<p>76人</p> <p>40人</p> <p>26人</p>
<p>How To ボランティア！！ （学生ボランティア 養成講座）</p>	<p>平成26年5月25日 ～平成27年2月8 日（年6回）</p>	<p>ボランティア活動に興味・関心をもつ学生を対象に、活動に必要な知識、技術等を習得し、活動をととして学んだものを生かして、それぞれの地域や学校で活躍するリーダーの養成を行った。</p> <p>◆第1回 「仲間づくり（アイスブレイク）」 講師 岡山県レクリエーション協会 鷹取 良枝 「ボランティア活動の how to!!?」 講師 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授 松岡 広路</p> <p>◆第2回 「救命救急法の how to!!」（AED講習） 講師 日本赤十字社岡山県支部職員</p> <p>◆第3回 「たのしいイベント企画の how to!!」 ・岡山県青年団協議会の取組 東日本大震災復興支援映画「Message」 講師 岡山県青年団協議会 仲田 俊範 ・ボランティア実践「オリジナル望遠鏡を作ろう」 岡山県青年団協議会</p> <p>◆第4回 「学校支援の how to!! ～赤磐市の取組～」 講師 赤磐市教育委員会学校教育課 主幹（課題政策班長） 吉井 清浩</p> <p>◆第5回 「たのしい科学実験の how to!!」講師 振興課職員 「ボランティア・マッチング会」 協力 岡山県ボランティア・NPO活動支援センター 「ゆうあいセンター」</p> <p>◆第6回 活動の振り返り 「見えてきたこと・見たいこと ボランティアのおもしろさを探る」 講師 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授 松岡 広路</p>	<p>47人</p> <p>30人</p> <p>38人</p> <p>17人</p> <p>14人</p> <p>9人</p>
<p>視聴覚ライブラリー 担当者研修会①</p> <p>視聴覚ライブラリー 担当者研修会②</p>	<p>平成26年7月17日</p> <p>平成26年12月10日</p>	<p>岡山県生涯学習センター 講義棟1階 小会議室 「視聴覚ライブラリー担当者として知っておきたい『著作権』と関連知識」 講師 岡山大学名誉教授 近藤 勲</p> <p>玉島テレビ放送株式会社 研修1 演題「地域映像を残していくことの大切さ」（講義） 研修2 演題「各種メディアのメンテナンス方法について」（講義・実習） 研修3 テレビ局内施設見学</p>	<p>13人</p> <p>10人</p>

2 情報提供・学習相談

事業名	実施期間	内容等
学習相談	年間	学習相談員が面談、手紙、電話、ファクシミリ、電子メールで生涯学習に関する相談に応じた。
生涯学習情報提供	生涯学習情報提供システムの整備	県内の生涯学習ポータルサイトとして、県内の関係教育機関が、データを入力、活用できるようIDの発行・「利用の仕方」についての研修等を行った。
	生涯学習情報の収集・整理	コンピュータネットワークで提供する「講座・講演情報」「学習施設情報」「視聴覚教材情報」「講師・ボランティア情報」「子ども向け情報」「子育て支援情報」等12分類の情報収集・整理に努めた。「講師・ボランティア情報」「学習プログラム情報」の更新を、県・市町村・各種団体等と連携して行った。
	視聴覚コーナーの整備・運営	8台のDVD用ブースで、郷土に関する映像やアニメーション映画等、1,500本の映像を提供した。
	情報・図書資料の収集・整理	図書、逐次刊行物、新聞等を収集・整理し学習者に提供した。
	催し物案内(情報誌)等の発行	要覧(1,200部)、情報誌「生涯学習センターだより」(10,000部(6月)、10,000部(11月))、リーフレット等を作成し、関係機関に配付し、センター事業等の紹介をした。
視聴覚メディア活用学習促進	視聴覚教材・機材の整備、貸出	県内全域にわたる社会教育団体・学校等に対し、視聴覚教材・機材等の貸出をした。また、DVD56作品を購入・整備し、視聴覚教材の整備に努めた。
	視聴覚教育の普及事業	16ミリ映写機利用セミナーを開催するなど、地域視聴覚ライブラリーや一般への視聴覚教育の普及に努めた。
	視聴覚教材広報活動	視聴覚教材目録を8,000部作成し社会教育団体・学校等へ配付した。また、「岡山県教育時報」や「生涯学習センターだより」等で教材の紹介を行った。
	岡山県視聴覚ライブラリー連絡協議会	県下14視聴覚ライブラリーとの連携を図り、視聴覚教育の推進に努めた。
16ミリフィルムデジタル化事業	昭和40年代前半～50年代前半に岡山県が企画した貴重なフィルム映像「あすの岡山県170万人の太陽」「おかやま-その風土と民族-」を新たにデジタルアーカイブし、DVDとして保存し、県内視聴覚ライブラリー等に配付した。	

3 生涯学習大学の開設

事業名	実施期間	内容等	参加者数
生涯学習大学	年間	<p>県の特性を生かした講座を行うとともに、他の行政機関や民間が行う多様な学習講座を体系化し、学習機会を提供した。</p> <p><主催講座></p> <ul style="list-style-type: none"> ○現代的課題を学ぶコース(4講座) <ul style="list-style-type: none"> 「心豊かにいきいきと生きる」くらしき作陽大学 174人 「人と暮らしにかかわる情報技術」岡山県立大学 31人 「少子高齢化と日本経済」岡山商科大学 33人 「東アジアの現在(いま)を考える」吉備国際大学 22人 ○岡山県の特性を学ぶコース(1講座) <ul style="list-style-type: none"> 「つい話したくなるような岡山自慢話」岡山理科大学 25人 ○生涯学習リーダー養成コース(1講座) <ul style="list-style-type: none"> 「生涯学習リーダー養成コース」 26人 <p><連携講座></p> <p>行政機関及び民間等が主催する講座を連携講座として協力いただいた。 講座数640講座(120機関)</p>	
のびのびキャンパス塾	平成26年9月9日～13日(前期) 平成27年2月3日～7日(後期)	岡山県生涯学習大学の大学院コース「学習指導」修了生が企画運営する講座の支援・指導助言を行い、講座開設者としての資質向上を図った。	14人 14人
生涯学習「受講生の集い」	平成27年2月22日	生涯学習大学単位認定証書、修了証書、奨励証の授与、体験発表記念講演「可能性の扉」フラワーアーティスト 長瀬悦子	335人

4 調査・研究

事業名	実施期間	内容等
土曜日教育支援に関する調査・研究	年間	県生涯学習課と連携して事業実施市町村11箇所を訪問し、年間計画やプログラムの概要、特徴、成果と課題等について聞き取り調査を行った。また、多様なプログラムの紹介とともに、実践の際のポイントがわかるように、各事例の成功要因を整理してまとめた実践事例集を発行した。各市町村教育委員会・公民館・コーディネーター登録者609名に配付した。

5 交流・連携と施設・設備の活用

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
京山キッズ・ゾーン「京山祭」	平成26年6月1日 平成26年11月3日 平成27年3月21日	隣接する太陽の丘公園、池田動物園と共同で、子ども向けのイベントを行った。 (※6月1日は「大学コンソーシアム岡山」と共催)	2,500人 2,600人 1,480人
ばるスマイル Day	平成26年5月17日 ～平成27年1月17日 (年6回)	体験活動を中心とした「ばるチャレンジ」、演奏を中心とした「ばるコンサート」、映画会を中心とした「ばるシアター」を行った。	延1,421人
発表・展示・交流	年 間	展示スペースを32団体(176日)に提供した。	
施設・設備の活用	年 間	県民に生涯学習センターの施設・設備を開放したり、貸出をした。	

6 科学教育の普及・推進

(ア) JAXAとの連携事業

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
学校教育支援	平成26年6月30日	<指定校>総社市立維新小学校 【内容】・国際宇宙ステーションでの生活や宇宙飛行士の訓練について 講師 JAXA経営企画推進課 主任 山方 健士	23人
	平成26年8月19日	【内容】・「はやぶさ」企画展示見学 ・プラネタリウム観覧	13人
	平成26年9月12日	【内容】・「はやぶさ」「はやぶさ2」や世界の宇宙開発について 講師 JAXA宇宙教育センター 工学博士 清水 幸夫	23人
	平成26年11月13日	<指定校>赤磐市立磐梨小学校・豊田小学校 【内容】・宇宙ステーションでの水の循環、資源の有効利用について 講師 JAXA宇宙教育センター 研究アドバイザー 小口 美津夫	40人
	平成27年3月5日	【内容】・無情力状態における生物の生活について 講師 JAXA宇宙科学研究所 准教授 黒谷 明美	40人
	平成27年2月13日	<指定校>新見市立高尾小学校 【内容】・宇宙から地球を見る方法について 講師 JAXA筑波宇宙センター 開発員 室岡 純平	24人
	平成26年10月27日	<指定校>井原市立美星小学校 【内容】・ISS搭乗中の宇宙飛行士との無線通信	150人
教員研修支援	平成26年4月25日 (総合教育センター)	【内容】・JAXA宇宙教育センター、RESTEC、島根大学、県総合教育センター、 県生涯学習センターで宇宙教育教材の利用推進、開発検討会議	20人
	平成26年11月14日 (生涯学習センター)	【内容】・JAXA宇宙教育センターの紹介と宇宙教育について ・JAXAと連携した学習効果を高める教材や指導方法の紹介 (月探査衛星「かぐや」のデータを活用した教材について)	10人
宇宙教育 リーダーセミナー	平成26年9月21日	【内容】・開校式 ・宇宙教育理念 ・コズミックカレッジについて ・教材開発の視点 ・安全について ・教材演習 ・閉校式 講師 JAXA宇宙教育センター 主査 渡邊 敦 済美高等学校 教諭 山中 文夏	14人
コズミック カレッジ	平成26年11月3日	【内容】「イオンエンジンの原理で動く風船ホバークラフトの製作」 「スイングバイ実験機製作」 講師 JAXA宇宙教育センター 主査 渡邊 敦 済美高等学校 教諭 山中 文夏 (※科学キッズフェスティバル in 京山祭で開催)	60人
社会教育支援	平成26年6月29日	第1回 【内容】・開校式 ・熱気球 講師 KU-MA会長 平林 久	295人
	平成26年8月24日	第2回 【内容】・月食の話 ・発泡スチロールを使った飛ぶ種子作り 講師 KU-MAスタッフ 市川 哲彦	219人
	平成26年12月7日	第3回 【内容】・ホバークラフト ・レポート発表練習 講師 KU-MA副会長 遠藤 純夫 KU-MA理事 並木 道義	184人
	平成27年2月1日	第4回 【内容】・宇宙の話 ・スチロール風 ・レポート発表会 ・閉校式 講師 KU-MA理事 並木 道義	194人
	平成26年9月6日 ～7日	宿泊研修 【内容】・地球を科学しよう ・宇宙の話 ・森の自然探検隊 講師 国立吉備青少年自然の家 所長 小林 道正 人と科学の未来館サイビア 高木 良輔 岡山県シェアリングネイチャー協会 藤本 光世 勝間 光洋	41人
	平成26年6月14日	指導者セミナー 【内容】・「宇宙の学校」の概要と宇宙教育教材説明 ・演習 講師 KU-MA副会長 遠藤 純夫	23人

(イ) その他の事業

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
JAXA タウンミーティング	平成27年1月24日	【内容】・JAXAタウンミーティングの趣旨説明・事業説明 挨拶 JAXA 理事 加藤 善一 進行コーディネータ JAXA 広報部長 上垣内 茂樹 ・話題提供①「身近になった衛星利用～ビジネスからアートまで～」 JAXA 第一衛星利用ミッション本部衛星利用推進センター ミッション企画室長 岩本 裕之 ・話題提供②「はやぶさ2について～太陽系天体探査への新たな挑戦～」 JAXA 「はやぶさ2」ミッションマネージャ 吉川 真 ・意見交換	139人
パブリック ビューイング	平成26年5月14日	◆ソユーズ宇宙船分離、若田飛行士の国際宇宙ステーションからの地球帰還	30人
	平成26年5月24日	◆「だいち2号」/H-II Aロケット24号機打ち上げ	160人
	平成26年12月3日	◆「はやぶさ2」/H-II Aロケット26号機打ち上げ ・分離	158人
高等学校関連事業	平成26年11月16日	◆きらり輝け！岡山さんフェア 2014 【内容】・研究発表 ・ファッションショー ・体験コーナー ・各学科の展示 ・ロボットのデモンストレーションと展示 ・県指定事業展示 ・展示即売	3,000人

7 施設設備の利用状況

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(ア) 情報創作棟利用（施設貸出）

(件)

施設設備名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
視聴覚室	10	22	15	15	17	11	20	18	12	11	16	11	178
大研修室	20	25	26	25	22	26	23	24	22	21	24	22	280
洋研修室	9	21	20	22	16	16	16	16	15	16	11	12	190
和研修室	8	10	14	10	7	22	16	15	12	15	11	12	152
ミーティング室1	25	31	30	27	30	25	29	27	27	24	24	27	326
ミーティング室2	27	29	30	33	35	30	30	34	34	31	31	29	373
ミーティング室3	20	26	23	24	22	21	27	21	19	20	23	23	269
ミーティング室4	20	23	24	25	27	23	26	20	23	21	22	24	278
ミーティング室5	18	20	20	22	21	23	19	24	19	21	21	22	250
美術教室	11	14	18	21	14	11	12	11	9	13	9	6	149
木工教室	4	6	12	11	9	7	7	7	7	7	3	3	83
陶芸教室	8	12	16	14	11	8	13	10	9	12	7	6	126
書道教室	14	30	30	31	23	23	31	25	18	20	19	10	274
パソコン教室1	1	1	2	2	3	0	4	6	1	1	5	1	27
パソコン教室2	4	6	9	11	5	11	8	10	4	6	11	7	92
ボランティア室	26	26	19	19	17	19	18	23	16	19	24	25	251
録音録音スタジオ	2	1	2	2	5	6	12	3	4	3	4	4	48
試写室	11	14	12	12	18	10	8	10	9	12	10	7	133
編集室	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	3

(イ) 交流棟利用（施設貸出）

(日)

施設設備名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
交流棟展示スペース	6	23	7	12	6	19	24	23	16	17	16	7	176

(ウ) 人と科学の未来館サイピア利用（施設貸出）

(件)

施設設備名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サイエンスドーム					1			1					2
科学体験・学習広場	1	11	7	14	2	14	42	14	2		5	4	116
企画展示室								2					2
プロデュースセンター				1	6	2		4					13

(エ) 人と科学の未来館サイピア利用（施設入館等）

(人)

施設設備名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サイピア入館者数	9,411	14,986	8,937	9,868	18,101	8,811	9,581	10,466	5,411	5,568	7,791	7,578	116,509
サイエンスドーム観覧者数	1,683	3,152	2,141	4,022	8,304	2,340	3,460	1,825	1,915	1,347	2,390	2,211	34,790

8 生涯学習情報提供システム（ばるネット岡山）

(ア) データ保有数

(平成27年3月31日現在)

種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数
講座・講演	91,407	団体・グループ	2,860	講師・ボランティア	707	視聴覚教材	6,214
施設・文化財	3,823	資 格	1,011	学習相談窓口	125	学習プログラム	1,038
学習相談事例	97	合 計					107,282

(イ) 利用状況

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数
講座・講演	16,154	団体・グループ	963	講師・ボランティア	4,154	視聴覚教材	7,376
施設・文化財	2,203	資 格	518	学習相談窓口	191	学習プログラム	741
学習相談事例	146	合 計				32,446	

9 学習相談件数

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数	合 計
講座・講師	66	施設・設備	323	図書	103	705
視聴覚視聴	116	視聴覚教材	73	その他	24	

10 視聴覚コーナー

(ア) ソフト保有本数 (LD・DVD)

(平成27年3月31日現在)

種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数	合 計
郷土に輝く人々 市町村紹介ビデオ	56	アニメ	329	洋画	382	1,500
邦画	215	音楽	58	その他	460	

(イ) 利用状況

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

種 別	LD教材	DVD教材	CD・ビデオ	合 計
回 数	220	4,897	21	5,138

11 視聴覚教材コーナー

(ア) 保有本数

(平成27年3月31日現在)

16ミリ映画	ビデオ教材	DVD・BD教材	合 計
2,298	3,263	898	6,459

(イ) 貸出状況

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用本数(本)	DVD・BD教材	59	85	154	94	132	44	100	63	113	92	71	12	1,019
	ビデオ教材	20	25	45	39	30	25	50	40	46	34	29	4	387
	16ミリ映画	0	1	0	6	15	6	1	3	1	1	3	24	61
	計	79	111	199	139	177	75	151	106	160	127	103	40	1,467
閲覧者数(人)	DVD・BD教材	9,077	5,767	13,994	6,266	6,584	2,894	19,019	4,623	9,819	13,741	9,162	555	101,501
	ビデオ教材	4,522	3,294	4,149	1,819	2,303	1,525	6,581	2,434	3,575	2,191	3,159	799	36,351
	16ミリ映画	0	45	0	639	675	346	63	600	41	61	90	1,362	3,922
	計	13,599	9,106	18,143	8,724	9,562	4,765	25,663	7,657	13,435	15,993	12,411	2,716	141,774

12 図書・ブラウジングコーナー

図書所蔵冊数

(平成27年3月31日現在)

区 分	冊 数	区 分	冊 数	区 分	冊 数	区 分	冊 数
一般図書	20,000	生涯学習関連資料	7,050	購入雑誌	18タイトル	購入新聞	6紙
(うち鳥城高等学校図書)	8,000						

6 関係条例及び規則

岡山県生涯学習センター条例

平成8年12月24日
岡山県条例第39号

(目的及び設置)

第1条 県民の生涯にわたる学習活動(次条において「生涯学習」という。)の振興を図るため、岡山県生涯学習センター(以下「センター」という。)を岡山市に設置する。

(業務)

第2条 センターは、前条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- (1) 生涯学習指導者の養成及び生涯学習関係者の研修
- (2) 生涯学習に関する情報の収集及び提供並びに生涯学習相談
- (3) 生涯学習に関する講座の開設
- (4) 生涯学習に関する調査及び研究
- (5) 科学に関する学習の機会の提供
- (6) センターの施設及び設備(以下「施設等」という。)の提供
- (7) 前各号に掲げるもののほか、センターの目的の達成に必要な業務

(開所時間及び休所日)

第3条 センターの開所時間及び休所日は、教育委員会規則で定める。

(指定管理者による管理)

第4条 センターの管理に関する業務のうち次条に規定する業務は、第13条第1項の規定により岡山県教育委員会(以下「教育委員会」という。)が指定するもの(以下「指定管理者」という。)に行わせるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第5条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 施設等の維持管理に関すること。
- (2) 施設等の利用の許可に関すること。
- (3) 施設等の提供に関すること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、センターの運営に関し教育委員会が必要と認める業務

(利用等の許可)

第6条 センターにおいて次に掲げる行為をしようとする者は、教育委員会規則で定めるところにより、指定管理者の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

- (1) 別表の1から3までに掲げる施設等の利用
- (2) サイエンスドームにおける天体運行等の投影の観覧
- 2 指定管理者は、センターの管理上必要な範囲内で前項の許可に条件を付することができる。
- 3 指定管理者が別に定める観覧券により観覧しようとする者については、第1項第2号の観覧に係る許可を受けたものとみなす。

(入所の制限等)

第7条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、センターへの入所を拒否し、又はセンターからの退去を命ずることができる。

- (1) 公共の秩序を乱し、又は善良の風俗を害するおそれがある者
- (2) 施設等を損傷するおそれがある者
- (3) 施設等の利用が、集団的に又は常習的に暴力的不法行為等を行うことを助長するおそれがある団体の利益になると認める者
- (4) その他センターの管理上支障があると認める者

(許可の取消し等)

第8条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、第6条第1項の許可を取り消し、若しくはその条件を変更し、又は行為の中止、原状回復若しくはセンターからの退去を命ずることができる。

- (1) この条例若しくはこの条例に基づく教育委員会規則又はこれらの規定に基づく処分に違反している者
- (2) 偽りその他不正な手段により第6条第1項の許可を受けた者
- (3) 第6条第2項の条件に違反している者
- 2 指定管理者は、施設等に関する工事のためその他公益上やむを得ない必要が生じたときは、第6条第1項の許可を受けた者(次条において「利用者」という。)に対して、同項の許可を取り消し、又はその条件を変更することができる。

(利用料金)

第9条 第6条第1項の許可を受けた行為に係る料金(以下この条において「利用料金」という。)は、指定管理者にその収入として収受させる。

- 2 利用料金は、別表に掲げる基準額に0.5を乗じて得た額から当該基準額に1.5を乗じて得た額までの範囲内の額で指定管理者が知事の承認を受けて定める額とする。
- 3 利用者は、指定管理者に利用料金を前納しなければならない。ただし、指定管理者が別に納期を定めたときは、この限りでない。
- 4 指定管理者は、特に必要があると認めるときは、あらかじめ知事の承認を受け、利用料金を減免することができる。
- 5 納付した利用料金は、返還しない。ただし、利用者の責めに帰することができない理由により許可を受けた施設等を利用することができなくなったときその他指定管理者が相当の理由があると認めるときは、この限りでない。

(職員)

第10条 センターに、所長その他必要な職員を置く。

(指定管理者の公募)

第11条 教育委員会は、指定管理者の指定をしようとするときは、教育委員会規則で定めるところにより、当該指定を受けようとするものを公募するものとする。ただし、特別の理由がある場合は、この限りでない。

(指定管理者の指定の申請)

第12条 指定管理者の指定を受けようとするものは、センターの管理に係る事業計画書その他教育委員会規則で定める書類を添えて、教育委員会に申請しなければならない。

(指定管理者の指定)

第13条 教育委員会は、次の各号のいずれにも該当するもののうちから最も適当と認めるものを指定管理者として指定するものとする。

- (1) 事業計画の内容が住民の平等な利用を確保することができるものであること。
- (2) 事業計画の内容がセンターの機能を最大限に発揮させるとともに、その管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (3) 事業計画に沿った管理を安定して行うことができるものであること。
- (4) その他センターの業務を効果的に行うため教育委員会が必要と認める基準に適合するものであること。
- 2 教育委員会は、前項の規定による指定をしたときは、その旨を告示するものとする。

(事業報告書の提出)

第14条 指定管理者は、教育委員会規則で定めるところにより、事業報告書を作成し、教育委員会に提出しなければならない。

(業務報告等)

第15条 教育委員会は、センターの管理の適正を期するため、指定管理者に対して、当該管理の業務又は経理の状況に関し報告を求め、実地について調査し、又は必要な指示をすることができる。

(指定の取消し等)

第16条 教育委員会は、指定管理者が前条の指示に従わないときその他当該指定管理者による管理を継続することが適当でないと認めるときは、その指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ずることができる。

2 教育委員会は、前項の規定による指定の取消しをしたときは、その旨を告示するものとする。

(教育委員会規則への委任)

第17条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、平成9年1月1日から施行する。

(中略)

附 則

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

岡山県生涯学習センター条例別表(第6条、第9条関係)

- 1 施設(情報創作棟施設、人と科学の未来館サイピア施設)
 - 2 冷暖房設備(情報創作棟冷暖房設備、人と科学の未来館サイピア冷暖房設備)
 - 3 設備金額(液晶プロジェクター等)
 - 4 観覧料(人と科学の未来館サイピア観覧料)
- } (表略)

岡山県生涯学習センター条例施行規則

〔平成8年12月24日
岡山県教育委員会規則第19号〕

(趣 旨)

第1条 この規則は、岡山県生涯学習センター条例(平成8年岡山県条例第39号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開 所 時 間)

第2条 岡山県生涯学習センター(以下「センター」という。)の開所時間は、次のとおりとする。

区 分		開所時間
児童遊園地		午前9時から午後5時まで
その他の区域	火曜日から土曜日まで(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)を除く。)	午前9時から午後9時まで
	日曜日及び休日	午前9時から午後5時まで

2 前項の規定にかかわらず、岡山県教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、必要があると認めるときは、開所時間を臨時に変更することができる。この場合においては、あらかじめその旨をセンターの掲示板に公示するものとする。

(休 所 日)

第3条 センターの休所日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日(その日が休日に当たるときを除く)
- (2) 休日の翌日(その日が休日でない火曜日から金曜日までに当たるときに限る。)
- (3) 12月28日から翌年の1月4日まで

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会は、必要があると認めるときは、休所日に開所し、又は臨時に休所日を定めることができる。この場合においては、あらかじめその旨をセンターの掲示板に公示するものとする。

(天体運行等の投影の回数等)

第4条 サイエンスドームにおける天体運行等の投影の回数及び開始時刻は、指定管理者(条例第4条に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)が教育委員会の承認を受けて定めるものとする。

(利用の許可の申請)

第5条 条例第六条第一項の規定により、条例別表に掲げる施設若しくは設備(以下「施設等」という。)の利用の許可又は許可を受けた事項の変更の許可を受けようとする者は、指定管理者が教育委員会の承認を受けて定める申請書を指定管理者に提出しなければならない。

(利用者等の遵守事項)

第6条 条例第六条第一項の許可を受けた者(以下「利用者」という。)は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。利用者の行う行事等のために入所する者も、同様とする。

- (1) 利用の許可を受けた施設以外の施設に立ち入らないこと。
- (2) 利用の許可を受けた設備以外の設備を利用しないこと。
- (3) 火災、盗難等の事故の発生予防に留意すること。
- (4) センターの職員又は指定管理者の指示に従うこと。
- (5) その他教育委員会又は指定管理者が必要と認める事項

(損壊の届出等)

第7条 利用者は、施設等を損壊し、又は滅失したときは、直ちに教育委員会又は指定管理者に届け出てその指示に従わなければならない。

(利用の終了の届出)

第8条 利用者(条例第6条第1項第2号の観覧に係る許可を受けた者を除く。)は、施設等の利用を終了したときは、速やかに指定管理者に届け出なければならない。

(視聴覚教材等の貸し出し)

第9条 視聴覚教材及び視聴覚機材の貸し出しは、生涯学習の目的のために利用する場合に限り、行うものとする。

2 前項の貸し出しを受けようとする者は、指定管理者が教育委員会の承認を受けて定める申請書を指定管理者に提出しなければならない。

(そ の 他)

第10条 この規則に定めるもののほか、センターの管理及び運営に関し必要な事項は、教育委員会、所長又は教育委員会の承認を受けて指定管理者が別に定める。

附 則

この規則は、平成9年1月1日から施行する。

(中略)

附 則

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

施設等利用料金表

<情報創作棟施設・設備利用>

(単位：円)

区分 施設・設備等 (定員・面積・階)				9:00～ 12:00	13:00～ 17:00	18:00～ 21:00	9:00～ 17:00	13:00～ 21:00	9:00～ 21:00	冷房 (1時間当)	暖房 (1時間当)	
視聴覚室	72人	261㎡	1F	5,400	7,200	5,400	14,300	14,300	21,500	630	530	
大研修室	150人	261㎡	2F	5,000	6,700	5,000	13,400	13,400	20,100	630	530	
洋研修室	12人	33㎡	3F	800	1,100	800	2,200	2,200	3,300	80	60	
和研修室	8畳	33㎡	3F	600	800	600	1,600	1,600	2,400	80	60	
ミーティング室①	18人	28㎡	2F	600	800	600	1,600	1,600	2,300	70	50	
ミーティング室②	12人	22㎡	2F	500	600	500	1,200	1,200	1,800	50	40	
ミーティング室③	18人	28㎡	2F	600	800	600	1,600	1,600	2,300	70	50	
ミーティング室④	18人	40㎡	4F	700	1,000	700	1,900	1,900	2,900	90	80	
ミーティング室⑤	26人	58㎡	5F	1,000	1,400	1,000	2,800	2,800	4,100	130	110	
美術教室	35人	80㎡	3F	2,800	3,700	2,800	7,500	7,500	11,200	390	310	
木工教室	8人	39㎡	3F	900	1,200	900	2,500	2,500	3,700	90	70	
陶芸教室	24人	39㎡	3F	800	1,000	800	2,100	2,100	3,100	90	70	
書道教室	32人	66㎡	3F	1,200	1,600	1,200	3,200	3,200	4,700	150	130	
パソコン教室①	40人	116㎡	4F	7,100	9,500	7,100	18,900	18,900	28,400	270	220	
パソコン教室②	20人	66㎡	4F	3,000	4,000	3,000	8,000	8,000	11,900	150	130	
ボランティア室	18人	40㎡	4F	700	1,000	700	1,900	1,900	2,900	90	80	
録画・録音 スタジオ	録画	-	116㎡	5F	4,500	6,000	4,500	11,800	11,800	17,900	270	220
					録音	2,500	3,300	2,500	6,600	6,600	9,900	270
試写室	18人	66㎡	5F	1,400	1,800	1,400	3,600	3,600	5,500	150	130	
編集室	-	21㎡	5F	600	700	600	1,500	1,500	2,300	50	40	
放送設備				一式1時間につき 380円 (交流棟に保管しているもの)								
資料提示装置				一式1時間につき 140円 (大研修室)								
液晶プロジェクター				一式1時間につき 230円 (大研修室)								
茶道具				一式1時間につき 690円 (和研修室)								
ピアノ				一式1時間につき 980円 (録画・録音スタジオ)								
陶芸窯				一台1時間につき 890円								

<人と科学の未来館サイピア施設利用>

区分 施設・設備等 (定員・面積・階)				9:00～ 12:00	13:00～ 17:00	18:00～ 21:00	9:00～ 17:00	13:00～ 21:00	9:00～ 21:00	冷房 (1時間当)	暖房 (1時間当)
サイエンス ドーム	132席	176㎡	2F	49,000	65,300	49,000	130,700	130,700	196,000	1,160	1,090
				8,500	11,400	8,500	22,700	22,700	34,100	1,160	1,090
科学体験・学習広場	-	237㎡	1F	5,600	7,400	5,600	14,800	14,800	22,200	410	310
企画展示室	-	101㎡	2F	2,000	2,700	2,000	5,400	5,400	8,100	170	130
プロデュースセンター	-	70㎡	1F	1,700	2,200	1,700	4,400	4,400	6,700	120	100

※12:00～13:00及び17:00～18:00の使用料の額は13:00～17:00の使用料額の1/4の額とする。(10円未満切り上げ)

※1時間未満の時間は1時間として計算する。

冷房期間：6月1日～9月30日、暖房期間：12月1日～3月31日

特例期間：上記冷暖房期間の前後2週間程度(工事などのため、冷暖房の利用ができない場合がある。)

<人と科学の未来館サイピア観覧料>(1人1回につき)

区分	観覧料	割引料金
一般(65歳未満)	520	470
一般(65歳以上)	310	260
高校生	300	240
小学生・中学生	100	80
小学生未満	無料	無料

※友の会会員は年度内無料、団体利用(30名以上)及びももっカード利用による観覧の場合は割引料金を適用する。ただし、特別投影及びイベント等を除く。

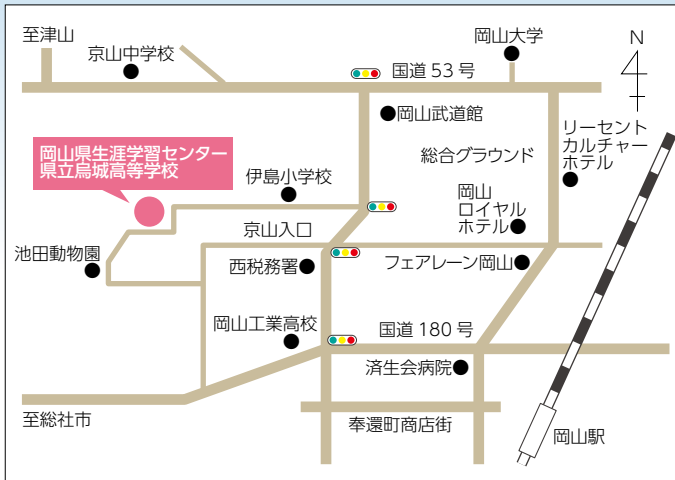
利用案内

■ 開所時間

火曜日～土曜日：午前 9 時から午後 9 時まで
日曜日・祝 日：午前 9 時から午後 5 時まで

■ 休所日

月曜日（その日が祝日に当たるときを除く）
祝日の翌日（その日が祝日でない火曜日から
金曜日までに当たるときに限る。）
12 月 28 日から翌年 1 月 4 日まで



交通案内

- 車** ・ JR 岡山駅西口から約 5 分 ・ 山陽自動車道岡山 I.C. から約 10 分（伊島小学校前西進つきあたり）
- バス** ・ 岡電バス JR 岡山駅西口から中央病院線京山入口下車 徒歩 8 分（所要時間約 13 分）
- 徒歩** ・ JR 岡山駅西口から約 25 分（1.7km）

※カーナビで「岡山県生涯学習センター」が見つからない時は、「岡山県立鳥城高等学校」で入力してください。

お問い合わせ

- 総合案内（施設・視聴覚教材等予約） ☎086-251-9788
- 総務課 ☎086-251-9750 fax.086-251-9757
- 振興課 ☎086-251-9751
- 学習相談 ☎086-251-9758
- 人と科学の未来館サイピア ☎086-251-9752 fax 086-251-9780

岡山県生涯学習センター

ぱるネット岡山

検索

〒700-0016 岡山市北区伊島町三丁目 1 番 1 号
<http://www.pal.pref.okayama.jp/>
<https://www.facebook.com/okasyogaise>